

学生の海外派遣

本学はみなさんの留学や国際交流活動を応援しています。「海外で学びたい!」と思っている人、ぜひ、国際交流センター・国際交流課にご相談ください。

本学には、短期留学（3ヶ月(1 Semester)未満）、長期留学（1 Semester以上1年以内）のほか、夏休みや春休みを利用した語学研修や文化体験など、海外で学ぶ多くのプログラムがあります。海外での学びを支援する奨学金制度も色々あります。

I. 大学が実施している学生の海外派遣

1. 留学

◆ 交換留学

交換留学制度とは、本学と学術交流協定を結んでいる海外の大学（協定校）との間で学生を相互派遣・受入する制度です。派遣先大学が指定する入学資格を満たし、本学に授業料を通常どおり納めた者は、派遣先の検定料・入学料及び授業料を納めなくても、3ヶ月～1年間留学することができます。派遣先で取得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目として認められる場合があります。

◆ ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）

本学と学術交流協定等を締結した海外の大学等に2年間留学し、本学と相手大学同時に在籍することにより、本学と相手大学で修得した単位を相互に認定し、卒業要件を満たした場合、それぞれの大学の学位を同時に取得することができる制度です。

基本的に5年間で、両大学の学位（学士）を取得することができます。

現在、本学では大韓民国の釜慶大学校と実施しています。

2. 海外での語学研修・文化体験

本学では、夏休みや春休みを利用した語学研修や文化体験など海外で学ぶ多くのプログラムを「鳥取大学Global Gateway Program」として用意しています。

参加学生の募集は、国際交流センターのHPを確認してください。

令和7年度実施予定

(1) 海外実践教育プログラム

■ メキシコ海外実践教育プログラム（実施時期：8月～9月）

メキシコの南バハカリフォルニア自治大学(UABCS)及びメキシコ北西部生物学研究センター(CIBNOR)に約2ヶ月間派遣します。本学教員をはじめ、UABCS、CIBNORの教員の協力を得て、現地でのフィールドワークと英語による講義を中心とした実践教育プログラムです。

■ ウガンダ大学海外実践教育プログラム（実施時期：2月～3月）

ウガンダで最も歴史のあるマケレレ大学で、ウガンダの社会経済、文化歴史、教育、医療事情を学び、更に在ウガンダ日本国大使館、JICAウガンダ事務所、小学校や高校などの教育機関、農業研究センター、国際協力サイトなどのフィールド研修を通じて理解を深める3週間のプログラムです。

■台湾銘傳大学英語・異文化研修（実施時期：2月～3月）

台湾銘傳大学において、3週間のネイティブスピーカー講師陣による4技能（読む・書く・聞く・話す）の集中トレーニングコースを受講し、実践的な英語能力を磨きます。授業以外にCultural Tourにも参加し、台湾の歴史や文化に触れることができる、語学・異文化理解プログラムです。

■マレーシア海外実践教育プログラム（実施時期：3月）

原則として日本人学生一人に対しマレーシア人学生一人が付く体制でマレーシアの大学生と対等に学び、フィールドワークに参加します。また、ローカル・コミュニティ、日系企業、教育研究施設等の視察を通じて、現地社会および地域住民と交流することを重視した実践教育プログラムです。

(2) その他の語学研修及び文化体験学習

英語研修

プログラム名	研 修 先	日 程
タイ海外体験プログラム	タイ・カセサート大学サコンナコンキャンパス	9月（約10日間）
語学研修プログラム（カナダ）	カナダ・ウォータールー大学レニソンカレッジ	8月～9月（約4週間）
語学研修プログラム（アメリカ）	アメリカ・カリフォルニア大学デービス校	8月～9月（約4週間）
マレーシアファーストステップ 英語・異文化研修	マレーシア・マラヤ大学	8月～9月又は2月～3月 （約4週間）
フィリピン英語イマージョンプログラム	フィリピン・ベンゲット州立大学	3月（約10日間）
語学研修プログラム （オーストラリア）	オーストラリア・アデレード大学	2月～3月（約5週間）

*カナダ、アメリカ、オーストラリアのプログラムは、参加者が各自で現地の実施大学に申し込みをすることになります。

また、上記の他に各学部等が実施する留学プログラムがあります。

*最新の情報は、国際交流・留学情報HPを確認してください。

【国際交流・留学情報HP】

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/global-study>

3. 奨学金制度

◆ 海外留学支援制度（協定派遣）

各大学で申請・採択されたプログラム（8日以上1年以内）に参加する学生のうち、成績、家計基準などの要件を満たす者に対し、国が支援する制度です。対象となるプログラムのタイプは短期研修・研究型、奨学金月額（6万円～10万円）は、派遣地域により異なります。また、一定の家計基準または派遣期間を満たした場合は、それぞれに応じた「渡航支援金」が支給されます。

○ 短期研修・研究型

派遣先大学等との連携により作成されたプログラムのうち、日本学生支援機構で採択されたプログラムに参加する学生が支援の対象となります。

詳細は、日本学生支援機構HPを確認してください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html

◆ トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム（官民協働海外留学支援制度）

文部科学省、独立行政法人日本学生支援機構が支援する留学プログラムで、意欲と能力のある日本の若者が海外留学に踏み出すことを目的としています。学生が自分で立案する諸外国での実践活動（インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、実験、実習等多様な学修活動）を含む留学を支援しています。このプログラムに採択されると、奨学金（月額6～16万円）および留学準備金（15万または25万円）のほか、必要に応じて授業料（定額30万円）が支給され、更に、留学のための事前事後研修や、実際に留学した学生間でのネットワーク構築等の支援を受けることができます。

詳細は、トビタテ！留学 JAPANのウェブサイトを確認してください。

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>

◆ 海外留学支援制度（大学院学位取得型）

修士または博士の学位取得にあたって、留学先大学で学位を取得（ダブル・ディグリーによる留学含む）するため正式な教育課程に在籍する間、学習・研究活動に必要な経費を国が支援する制度です。

詳細は、日本学生支援機構HPを確認してください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/index.html

4. 国内での英語研修

(1) 語学強化コース

海外への関心及び実践的語学力を高めるとともに、海外派遣プログラム、海外長期留学への参加希望者を増やすための取組として、5限目やランチタイムを利用して英語、中国語、スペイン語のコースを開講しています。複数言語を受講することもできます。

申込方法及び時間割は、国際交流センターHPを確認してください。

(2) 国内英語イメージンプログラム

鳥取キャンパス等を利用し、週末に実施される約2日間の短期集中英語研修で、外国人講師による対話型授業で英語コミュニケーション能力の向上を目指すとともに、本学外国人留学生もアシスタントとして参加し、異文化学習等も行います。

5. その他（海外派遣の注意事項）

留学にあたっては、その目的を明確にすることが大切です。目的をはっきりさせることにより、自分にふさわしい留学の方法、留学先、留学期間、留学時期などを決定することができます。

また、海外渡航を実りあるものとして実現するためには、渡航先の情報、特に安全情報等の収集や語学の習得、渡航手続の用意など、入念に準備を行うことをお勧めします。

本学での渡航前手続きは、次のとおりです。

【留学願】等：留学希望者は、所属学部等の担当係へ申し出てください。

【海外渡航届】：海外渡航をする時は、必ず海外渡航届を提出してください。

学務支援システムにログインし、必要情報を入力・送信、帳票印刷した海外渡航届に署名・押印の上、所属学部等の担当係へ提出してください。

詳細は、所属学部等の担当係又は国際交流課にお尋ねください。

【海外留学保険】：海外へ渡航する際には、海外旅行保険の加入を義務付けています。

鳥取大学では、本学学生の海外渡航者向けの制度「学研災付帯海外留学保険（付帯海学）」への加入を推奨しています。この保険は大学が承認した派遣留学などに参加する学研災加入者が加入できる保険です。旅行等、個人的な渡航の場合は加入できませんので、個人的な海外渡航の場合は、各自で海外旅行保険に加入してください。

「在留届」の届け出：海外の滞在期間が3ヶ月以上の場合は、在留届の届け出をしてください。
「たびレジ」への登録：海外の滞在期間が3ヶ月未満の場合は、たびレジへの登録をしてください。

参照HP

機 関 名 等	HPアドレス
日 本 学 生 支 援 機 構	http://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html
外 務 省 渡 航 関 連 情 報	http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html
厚 生 労 働 省 検 疫 所	http://www.forth.go.jp/index.html
国 立 感 染 症 研 究 所	https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html
鳥 取 大 学 国 際 交 流 セ ン タ ー	https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja

6. 海外渡航時における安全教育

本学では、学生の海外における安全な勉学、生活、滞在のために、以下のような事前安全教育を義務付けています。渡航の種類に応じて、必要となる安全教育が異なりますので、注意してください。

安全教育の種類		対応する渡航区分
全学共通科目：入門科目 「大学入門ゼミ」 *必修	1年次必修の「大学入門ゼミ」（医学部医学科は「キャリア入門」）の中で、安全教育に関する講義2コマを視聴し、確認テストに合格すること。 大学院生、編入学生など、上記科目の受講ができない学生は、 <u>国際交流課に連絡すること。</u>	観光旅行等の個人的な渡航 (私事渡航)
全学共通科目：「海外安全マネジメントI」	全学生が、全学共通科目：「海外安全マネジメントI」のうち指定するコンテンツを視聴し、確認テストに合格すること。	教育研究活動に関わる渡航 学会参加、研究、調査、 個人的に参加する留学、 インターンシップ、課外活動、 ボランティア活動、TU-ITP、 学部主催プログラム
全学共通科目： 「海外安全マネジメントI (入門編)」(8回：16時間)	全学生が、「海外安全マネジメントI(入門編)」を履修し、単位(1単位)を取得すること。 やむを得ない事情で履修ができない場合は、 <u>国際交流課に連絡すること。</u>	本学主催プログラムでの渡航 Global Gateway Program 学術交流協定校への交換留学ス パイラルアップ等 トビタテ留学JAPAN 海外の大学が実施する語学研修

* 詳細については、所属学部担当係、教育支援課教務企画係又は国際交流課にお尋ねください。

また国際交流・留学情報HPを確認してください。

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/overseas-safety-management>

II. 海外派遣に関する問合せ先

留学や語学研修等、海外派遣を希望する時は、国際交流課に相談・問い合わせをしてください。

【相談・問合せ先】

国際交流課国際戦略推進室

(電話) 0857-31-5052

(FAX) 0857-31-6065

E-mail: kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp

【国際交流センターHP】

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/global-study>

Home> 国際交流・留学情報> 鳥取大学から海外へ